

# 霧降高原スキー場24日オープン

## 10日ごろから人工降雪機を運転

霧降高原スキー場は、今月二十四日(予定)のオープンを目指しリフト事業所職員が総出で準備に追われています。

十一月三日で終わった夏山リフトのあと、休む間もなく冬山リフトの準備に入り、現在はスキーヤーを運ぶ搬器の付け替え・整備、スノーマシン(人工降雪機)の点検整備、給水施設の整備などを行っています。これらの作業は間もなく終わり、いよいよ十日ごろから同スキー場自慢のスノーマシンを運転し、ゲ

レンデ作りに入ることになっています。

同スキー場の強みは自然降雪がなくても、スノーマシンで安定した積雪が確保できること。昨シーズンは自然降

### 湯元はひと足さきに16日オープン

一方、湯元スキー場は十二月十六日、霧降高原スキー場より一足さきにオープンします。湯元スキー場も昨年二台

雪に恵まれて過去最高の三万六千八百人の利用者を記録しましたが、リフト事業所の職員は、今シーズンはこの記録を更新しようと懸命に準備作業を進めています。

のスノーマシンを導入、雪不足に悩まされずにオープンを迎えることができます。さらに今年、スキーヤーが手軽にスキー場を利用できるように、八千三百万円をかけて延長六百三十メートルのリフト一基を新設しました。

## みんなそろって 明るいお正月を 12月1日~31日 歳末助け合い運動

「歳末たすけあい運動」が、十二月一日から一か月間全国的に繰り広げられます。この運動によって集められた善意の寄付金は、恵まれない人々や福祉施設を利用されている方々が、明るいお正月を迎えられるよう、有効に活用されます。

昨年は、日光市でも多くの

人々から七十四万三千八百五十円が寄せられ、社会福祉協議会の九十八万六千六百五十円と合わせて、長期入院患者や寝たきり老人、恵まれない人たちに歳末見舞金を渡すことができました。今年もみなさんの温かいご協力をお願いします。

## 野口、和泉地区の難聴を解消

### 遠隔装置付きサイレンが完成

野口、和泉地区のサイレン難聴を解消するために設置を進めていた「遠隔装置付きサイレン」がこのほど完成し、地域の防災体制がますます強化されたことになりました。

このサイレンは、高さ十五メートルのところに六方向のトランペットス

野口、和泉地区のサイレンを吹鳴できる仕組みになっています。

同サイレンを設置した場所は、野口、和泉とも両自治会の公民館わきで、設置費は両方で五百六十五万円となっています。

このほか消防施設としての防火貯水槽の整備は今年度四か所で、うち稲荷町三丁目二〇立方メートルの貯水槽がすでに完成、あとの三か所は、松原町の駅前派出所東側に四〇立方メートル、七里の上野に二〇立方メートル、山久保の中野に二〇立方メートルをそれぞれ設置することにしており、まもなく工事に入ります。



完成した遠隔装置付きサイレン。非常のときは、消防本部のボタン操作で吹鳴できる。

ピーカーが取り付けられ、非常の際は消防本部にセットさ